

## 新ICT利活用サービス創出支援事業「メタデータ情報基盤構築事業」

### 第4回検討会 要旨

メタデータ情報基盤構築事業事務局

#### ■メタデータ情報基盤事業の実証について

(筑波大学 図書館情報メディア研究科 講師 永森 光晴氏)

##### ○要旨

メタデータスキーマは様々なファイルフォーマットで保存されており、バラバラに提供されていて、活用しようとしても利用が困難であった。そこで、今回開発のメタデータスキーマ・レジストリでは、そうしたデータフォーマットをウェブの標準に対応して整理し登録できる機能を有する、さらに、ハブとして、コンテンツ提供者やメタデータスキーマ作成者がマッシュアップしてサービスを構築できる環境を提供するサービスを提供する。つまり、今回構築しているメタデータスキーマ・レジストリは公開・検索・再利用／マッシュアップを行う事を目的としている。

構築メタ基盤システムを利用する事で、記述規則を作成する際に

- ・ 様々な情報を調べることが出来るので、コスト削減や標準化の手助けとなる
- ・ 過去の履歴を確認できる事で、作成に幅が出来る
- ・ 様々なフォーマットで出力する事が出来る
- ・ API を利用する事でデータ連携が可能となる

#### ■「評価」に関して (インフォコム株式会社 鳥越 直寿氏)

##### ○要旨

メタ基盤システム構築スケジュールは予定通り。

- ・ フェーズ1は開発完了。
- ・ フェーズ2は2月25日にリリース予定であり、このバージョンで実証を実施して頂く予定である。
- ・ フェーズ3は開発中で、3月11日リリース予定である。

—以下、デモに関する概要—

ログイン不要な一般利用者には、検索と参照のみのサービスを提供する。

ログイン権限を有しているユーザーには、権限に応じてメタデータスキーマの編集が行えるようになっている。

実証に関して3つの観点での実証を行う。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 2月25日～3月 3日 | スキーマの登録に関する実証    |
|             | スキーマの検索・作成に関する実証 |
| 3月11日～3月17日 | メタデータ変換に関する実証    |
|             | システムの利活用に関する実証   |

- ・実証対象機関はコンテンツ供給者及び利用者の観点で行い、関係者及びメタデータ情報基盤研究会、一般モニターを対象とする。
- ・実証内容及び資料はウェブにて公開して、ダウンロードして実証してもらう形式とする。
- ・実証後にアンケート用紙に回答頂き、報告書に反映する予定である。

#### ■自由討議

(司会：筑波大学 知的コミュニティ基盤研究センター 教授 杉本氏)

構築メタ基盤システムの機能、運用時の考慮すべき事項を中心に自由討議が行われた。

以上